

Special Need Education Research Center

SNERC通信

(第19号-2010年12月)

国立大学法人 筑波大学
特別支援教育研究センター
センター長：河内 清彦
〒112-0006 東京都文京区小日向2-16-15
TEL&FAX：03-3942-6923
<http://www.human.tsukuba.ac.jp/snerc/>
mail：snerc@human.tsukuba.ac.jp

■ 巻頭言

「4年目を迎えて」

筑波大学特別支援教育研究センター 左藤敦子

この秋で、特別支援教育研究センターに着任して4年目となりました。この3年余を振り返ると、各附属特別支援学校の先生方の支えがあったからこそこのセンターであるということを改めて感じているところです。

特に、センター事業の柱の一つである現職教員研修生の受け入れは、附属特別支援学校の協力と連携なくしては実現できないことです。私自身、これまでに5名の研修生の方と関わる機会を得ることができました。現職教員研修において、私が果たすべき役割の一つは、〈実践の知〉と〈科学の知〉を結びつけていくことだと考えておりますが、教職経験が豊富な研修生の先生も珍しくないという重圧の中、その責任の重さと自らの未熟さに頭を悩ます日々を送っております。このような緊張の一方で、研修生である先生方とともに現在の特別支援学校の現状について意見を交わしながら、附属特別支援学校での研修における学びを常に肌で感じることができるという充実感も感じており、多数の研修生がいる風景は特別支援教育研究センターだからこそ醍醐味だとも思っております。しかしながら、昨今では財政的な制約に関連して、研修派遣の道も厳しくなっていることを含めた学内外の情勢の変化から、現職教員研修プログラムの見直しをはじめ、センターの現職教員研修の魅力をどのようにアピールしていくのかについて、改めて見直す時期を迎えていると痛感しております。

前号の巻頭言にもありましたように、センター設立にあたっての期待の重みと意義を忘れずに、少しずつでも着実に前に進んでゆけるように努めてまいりたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。



■ 現職教員研修生の「研修日記」

現職教員研修生は、各附属での実習や特別支援教育研究センターでの演習等を通じて研修を深めています。今回は大塚特別支援学校で実習を行っている上田さんと工藤さんから「現職研修生日記」に寄稿していただきました。

【 現職教員研修生から 】

地元、秋田県からでて生活したことのない私にとっては、東京（筑波大）での研修生活は魅力と刺激でいっぱいです。様々な障害種別の観点から研修を受けられること、実習校を始め、先進的な取組をしている東京都内や近隣県の授業を参観できること、現在の教育課題に関連した大学院の講義を聴講できること等まだまだ魅力がいっぱいです。

現在は、自分の研究テーマに沿って、所属校の協力と指導教員の藤原先生からの熱いご指導を得ながら、授業分析と授業改善にのめり込んでいます。頭を抱え、悩み、そして発見や子どもたちの成長に喜び、そしてまた悩み・・・そんな日々が続いています。来年度現場に戻り、よりよい授業実践ができるよう、今の悩みや喜びを満喫しようと思っています。これも、日々相談に乗ってくれる研修生の仲間がいるからこそ。仲間と共に、今しか経験できないこの貴重な機会を有意義に活用したいと思います。



秋田県立比内養護学校かずの分校
研修生 工藤 智史

【 現職教員研修生から 】

筑波大学特別支援教育研究センターでの研修も折り返し地点を過ぎた今感じることは、この研修期間は自分にとってとても貴重な1年間になるだろうという強い思いです。

例えば、センター研修では各附属校の先生方が専門的で具体的な演習内容を工夫して下さり、ここに来たからこそ学ぶことができたのだと感じます。とてもありがたく思います。また、日頃は客観的な立場で授業を見たり分析したりする経験をさせていただき、担任をしていた当時には気づけなかった新たな視点を持たせていただけたことは、今後の大きな財産になると思っています。それから、年度当初にセンター長からのお話にもありました、人とのつながりが持てることです。教授の講義やゼミでのご指導、附属を始めとする先生方とのつながり、院生との交流、研修生仲間との相談や励まし合い等、これも研修中の自分にとってはなくてはならないつながりでした。



これから、試行錯誤しながらの研修になると思いますが、その中で自分が得たものを整理しながら、所属校に持ち帰りたいと思っています。そのためにも残り少ない研修期間を大切にしたいです。

これからの研修は、試行錯誤しながらの研修になると思いますが、その中で自分が得たものを整理しながら、所属校に持ち帰りたいと思っています。そのためにも残り少ない研修期間を大切にしたいです。

長野県小諸養護学校 上田日登美

■ 【報告】特別支援教育研究センター主催セミナーについて

1月27日、附属視覚特別支援学校の講堂にて、特別支援教育研究センター主催セミナーを開催いたしました。第12回目となる今回は、「特別支援教育の展開」と題した新しいシリーズのもと「特別支援学校の課程を卒業した青年の現状と課題」をテーマとして、齋藤まり子氏（仙台市発達相談支援センター「アーチル」主査）をお迎えし、「成人期の発達障害のある方たちの生活とその支援」と題して発達相談支援センターでの取り組みを紹介していただきました。セミナー参加者からは、「特別支援学校での子ども達の支えが、卒業後も大きく関わっていることに、その責任の重大さを感じた。」「福祉行政の中に教員が入って支援するという重要な話を聞くことができ、行政として連携の在り方の参考になった。」などの声と共に、次回への期待も寄せられました。今回の開催にあたり、視覚特別支援学校の校長先生をはじめ先生方には深く感謝申し上げます。



第18号SNERC通信の一部訂正のお知らせとお詫び

前回配付いたしました、第18号SNERC通信の記載内容に誤りがありましたので、お詫びを申し上げますとともに、下記のとおり訂正させていただきます。訂正内容（下線が訂正部分です）

1. 訂正箇所：1ページ目「巻頭言」

正	誤
本年1月 <u>から</u> 障害者制度改革推進会議特別支援学校への厳しい意見が提出されたことなど、学内外の情勢は大きく変化しました。 そのような中、最近、本センターの存在や役割が見えにくいとの指摘が寄せられております。	本年1月 <u>からの</u> 障害者制度改革推進会議特別支援学校への厳しい意見が提出されたことなど、学内外の情勢は大きく変化しました。 そのような中、最近、本センターの存在や役割が見えにくいとの指摘が寄せられております。

2. 訂正箇所：3ページ目「現職研修生の研修日記」

正	誤
今回は聴覚特別支援学校で <u>実習</u> を行っている皆川さんから「現職研修生日記」に寄稿していただきました。	今回は聴覚特別支援学校で <u>実習行</u> っている皆川さんから「現職研修生日記」に寄稿していただきました。

3. 訂正箇所：3ページ目「連携研究について」

正	誤
① 発達障害や重複障害をもつ幼児のアセスメントと支援方法、園へのコンサルテーションの在り方に関する研究（2）座位の保持や移動に困難を抱える知的障害幼児の事例を通して ② 「見えにくさ」のある肢体不自由児に対する社会科の指導	① 知的障害特別支援学校における重度重複障害児への認知学習プログラムに関する研究 ② 視覚障害教育で開発された教育的アセスメント・教材教具等を見えにくさのある肢体不自由児へ適用し、有効性を検証する。

4. 訂正箇所：4ページ目「セミナー趣旨」

正	誤
仙台市発達相談支援センターアーチル主査 <u>齋藤まり子氏</u> をお迎えし、以下のような内容で開催するはこびとなりました。	仙台市発達相談支援センターアーチル主査 <u>齋藤まりこ氏</u> をお迎えし、以下のような内容で開催するはこびとなりました。

筑波大学障害科学系／特別支援教育研究センター

研究交流セミナー

【セミナーの趣旨】

これまで障害科学系教員と附属特別支援学校教員間の研究を主とした交流を深めるため本セミナーを開催してまいりました。障がい者制度改革推進会議などで指摘された特別支援学校の存在意義、とりわけ附属特別支援学校について考究する基礎的な情報を得るために、今回は「これからの特別支援教育のめざすもの」をテーマにセミナーを企画しました。中村氏からはインクルージョン教育についての学術的な解説を、千原氏からは特別支援教育についての現状をご講演いただきます。

今回のセミナーはこれまでの参加者に加えて附属学校教員、特別支援学校5校PTAを含めた特別支援教育関係者を対象としています。

日時 平成23年1月6日(木) 14:30～17:20

場所 筑波大学附属小学校講堂 (東京都文京区大塚 3-29-1)

【プログラム】

○開会挨拶

○講演

「インクルーシブ教育に関する学術研究の成果と課題

ー日本が分離を選択した理由の源泉と意義に関する比較的検討ー」

(東日本国際大学 中村 満紀男 氏)

「わが国の障害者権利条約批准と特別支援学校の意義(仮)」

(文部科学省特別支援教育課長 千原 由幸 氏)

○閉会挨拶

〔問い合わせ先〕

筑波大学特別支援教育研究センター

TEL 03-3942-6923 / 6937

FAX 03-3942-6938

E-mail snerc@human.tsukuba.ac.jp

URL <http://www.human.tsukuba.ac.jp/snerc/>

